



2009 年度 前期

東北大学会計大学院アンケート実施報告書

Tohoku University Accounting School

東北大学会計大学院ワークショップ委員会

1.はじめに

東北大学会計大学院は2005年4月に国立大学法人では初めての会計専門職大学院として開設され、今年で5年目を迎え、2009年9月末時点で100名以上の卒業生を社会に送り出すことができた。

本大学院の目的は、グローバルな視野と高度な分析能力を持つ職業会計人を養成し、将来にわたりこのような人材を社会に提供し続けていくことである。この目的を達成していくために第一義的に重要なことは、会計大学院における教育であり、私たちは、社会が職業会計人に求める能力を把握し、これを学生への教育へと反映し、同時に、現在行っている教育が学生の能力やニーズに見合っているかを常に確認しながら、より効果的な教育方法を模索していく必要があると考えている。私たちは、会計大学院における最善の教育方法・システムを求めていくためのひとつの手段として、毎 Semester 終了後にアンケートを実施することとした。本会計大学院は、昨年度、会計大学院評価機構から認定会計大学院との評価を受け、認証評価のプロセスにおいても本会計大学院が実施しているアンケートは高い評価を得ている。

過去4年間のアンケートは、「アンケート実施報告書」として会計大学院のホームページ (<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/keiji2009b.html>) で公開している。私たちの意図は、東北大学会計大学院への入学希望者や将来私たちが教育した学生を受け入れていただくことになる監査法人・会計事務所・企業・官庁の方々に、本会計大学院でどのような教育が行われているかを理解して頂きたいという点にある。私たち教員は、この調査報告書の公開により、東北大学会計大学院へ関心が高まり、本大学院出身の学生が高度な分析能力を持つ職業会計人として活躍できる機会が増えることを期待している。

私たちは、このアンケート調査報告書を在学生在が教員に対して発信したメッセージと捉えている。今後とも、私たちはアンケートを通じて改善すべき点を見いだし、質の高い教育サービスを提供できるよう努力していきたいと考えている。アンケート結果についてご意見等をメール等でいただければ幸いである。

2009年10月15日

東北大学会計大学院ワークショップ委員会

2. 実施方法

本報告は、2009年度前期の「会計大学院の授業に関するアンケート」（巻末：付録1参照）に関するものである。アンケートは講義中に配布・回収を行い、延べ人数にして約414名の回答を得た。アンケートは無記名であり、受講生が5人以上であるすべての講義について実施した。

今回の報告の目的は、本会計大学院における教育の現状を学生・教員へタイムリーに報告することであり、アンケート質問項目ごとの分析は行わず、アンケートの集計結果のみを示すこととした。本会計大学院の教育内容・教育方法全般に関する分析については、今年度末（2010年3月）の報告書で行いたいと考えている。ただし、今回のアンケートにおいて学生から寄せられた意見の中で、会計大学院の教育全般に関わると考えられるものについては、若干のコメントを行いたい。なお、科目毎のアンケートの集計結果（アンケート質問項目17の自由質問を含む）と自由記入欄の記載内容は担当教員に直接報告されており、ワークショップ委員会では、これが次年度以降の講義内容の充実に資することを期待している。

3. 「会計大学院の授業に関するアンケート」に関する分析

3.1. アンケートの実施状況

2009年度前期における開講講義数は35科目であり、そのうち履修者が5名以上の講義と、教員がアンケートの実施を申し出た科目（29科目）についてアンケートが実施された。開講科目と履修者・アンケート回収数をまとめると次のようになる。

授業科目名	履修者数	回収数
上級財務諸表	10	10
財務会計 1	48	27
財務会計 2	36	24
上級財務会計	23	15
事例研究（財務諸表分析）	6	2
簿記 1	61	45
簿記 3	20	17
管理会計	12	8
事例研究（コストマネジメント）	7	4
企業ファイナンスの基礎	9	9
原価計算 1	54	35
原価計算 3	22	19
監査	16	7
監査計画の編成法 2	7	7
事例研究（監査制度）	10	9
ビジネス・コミュニケーション 1	9	9
経営管理	23	19
統計学	6	6
監査制度	29	29
法人税法	41	31
上級法人税法	15	12
証券取引行政	11	11
事例研究（証券取引行政）	6	5
所得税法	24	15
事例研究（情報システム管理）	3	2
経営戦略	3	2
ビジネス倫理	13	9
情報セキュリティ	15	12
企業開示制度のしくみと実際	23	14
合計	562	414

「履修者数」は履修登録を行った学生数であり、「回収数」は履修登録を行わず聴講している学生も含んでいる。

表 1：アンケート実施科目と回収数

今回のアンケートでは、延べ履修者数 562 名に対して 414 名から回答を得た。アンケートの回収率は 73.67% であり、前回（2008 年度後期，70.82%）からやや上昇しており、前年度同期（2008 年度前期）の回収率 66.43% と比較してもかなり上昇している。

なお、質問項目 17 は科目担当教員が独自に行う質問であり、アンケートの集計には含めていない。

3.2. アンケートに関する基本統計量

各設問の選択肢に付与された数字は、好ましい回答ほどその値が大きくなるよう設定されているため(設問1を除く)、この数値化によって回答の平均値、中央値、最頻値の算出を行った。その結果は以下の通りである。なお、アンケートの内容については付録2を参照されたい。

項目 \ 設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	属性	出席	予習	復習	宿題	理解	難易度	教員準備	プレゼン	教材	評価方法	シラバス	教員評価	対試験	キャリア	資格
5	154	362	15	19	32	139	272	331	305	284	277	222	313	272	246	6
4	263	57	7	8	18	217	129	89	105	107	106	127	95	116	134	7
3	2	18	20	41	63	83	45	25	35	44	60	90	38	53	67	27
2	16	6	58	101	111	17	11	12	8	17	13	15	10	9	7	249
1	20	12	218	233	169	1	1	2	6	5	2	4	1	7	2	60
0	0	1	137	55	59	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	455	456	455	457	452	458	458	459	459	457	458	458	457	457	456	349
平均値	4.13	4.64	1.09	1.52	1.80	4.03	4.44	4.60	4.51	4.42	4.40	4.20	4.55	4.39	4.35	2.00
中央値	4.00	5.00	1.00	1.00	1.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	5.00	2.00
最頻値	4	5	1	1	1	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2

表2：アンケートの基本統計量

質問項目間の相関関係をみるために、次のような表を作成した。

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	属性	出席	予習	復習	宿題	理解	難易度	教員準備	プレゼン	教材	評価方法	シラバス	教員評価	対試験	キャリア	資格
1 属性	1.000															
2 出席	0.475	1.000														
3 予習	-0.544	-0.422	1.000													
4 復習	-0.513	-0.393	0.869	1.000												
5 宿題	-0.636	-0.451	0.801	0.975	1.000											
6 理解	0.926	0.474	-0.756	-0.684	-0.765	1.000										
7 難易度	0.708	0.945	-0.615	-0.568	-0.640	0.736	1.000									
8 教員準備	0.569	0.992	-0.505	-0.469	-0.531	0.575	0.977	1.000								
9 プレゼン	0.623	0.981	-0.539	-0.499	-0.568	0.637	0.991	0.997	1.000							
10 教材	0.636	0.973	-0.578	-0.524	-0.587	0.662	0.994	0.993	0.999	1.000						
11 評価方法	0.625	0.964	-0.609	-0.552	-0.610	0.678	0.993	0.986	0.994	0.997	1.000					
12 シラバス	0.697	0.875	-0.723	-0.640	-0.695	0.806	0.972	0.919	0.944	0.957	0.972	1.000				
13 教員評価	0.588	0.986	-0.540	-0.499	-0.561	0.610	0.985	0.998	0.999	0.998	0.994	0.939	1.000			
14 対試験	0.666	0.958	-0.597	-0.546	-0.615	0.705	0.998	0.983	0.995	0.997	0.998	0.973	0.991	1.000		
15 キャリア	0.727	0.910	-0.667	-0.611	-0.681	0.790	0.993	0.950	0.972	0.979	0.986	0.992	0.965	0.991	1.000	
16 資格	-0.354	-0.313	0.043	0.345	0.503	-0.421	-0.389	-0.328	-0.366	-0.351	-0.376	-0.426	-0.351	-0.396	-0.433	1.000

表3：質問項目間の相関係数

上記の表については過去の報告書でも報告されている。過去の報告については、会計大学院のホームページを参照されたい (<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/keiji2009b.html>)。

4. まとめと自由記入欄に対する回答

今回のアンケートは、70%を越える高い回収率を示しており、学生全体の総意に近い内容を含んでいるものと考えられる。私たちは、今回の結果を真摯に受け止め、本会計大学院の教育内容が充実していくよう努力していきたい。なお、今回のアンケート自由記入欄では、講義全般に関わる意見は見られなかったが、個々の講義に関して貴重な意見をいただいている。これらの意見については、会計大学院運営委員会へ報告し、改善を求めたいと考えている。

付録1：会計大学院の授業に関するアンケート（2009年度前期）

このアンケートは会計大学院の授業改善に学生諸君の意見を反映するためのものであり、集計結果等は報告書として公表致します。

授業科目名はマークシート用紙に記入されていますので御確認下さい。

回答者属性

番号	質問	回答	備考
1	あなたの専攻・コース（学年）について、該当するものを選んで下さい。	(5) 公認会計士コース（2年） (4) 公認会計士コース（1年） (3) 高度会計職業人コース	(2) 経済経営学専攻 (1) 経済学部

科目内容について

番号	質問	回答	備考
2	この講義にどのくらい出席しましたか？	(5) 90% 以上 (4) 89-70% (3) 69-50% (2) 49-20% (1) 20% 未満	おおよその出席率で回答して下さい。
3	この講義の予習にどのくらいの時間を掛けましたか？	(5) 5時間以上 (4) 4-5時間 (3) 3-4時間 (2) 2-3時間 (1) 1-2時間 (0) 1時間未満	セメスターを通じた平均時間を回答して下さい。
4	この講義の復習にどのくらいの時間を掛けましたか？	(5) 5時間以上 (4) 4-5時間 (3) 3-4時間 (2) 2-3時間 (1) 1-2時間 (0) 1時間未満	宿題に掛けた時間を含めずに回答して下さい。
5	この講義の宿題にどのくらいの時間を掛けましたか？	(5) 5時間以上 (4) 4-5時間 (3) 3-4時間 (2) 2-3時間 (1) 1-2時間 (0) 1時間未満	セメスターを通じた平均時間を回答して下さい。
6	この講義の内容をどの程度理解できたと思いますか？	(5) 理解できた (4) ほぼ理解できた (3) どちらともいえない (2) あまり理解できなかった (1) 理解できなかった	
7	この講義の難易度は会計大学院の講義として適切だと思いますか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	この講義が、基礎、展開、実践・応用科目(注)の何れに属しているか（マークシートに記載）を考慮して回答して下さい。

(注) 実践・応用科目は基礎、展開科目で学んだ内容が、実際にどのように応用されていくかを学習する。

番号	質問	回答	備考
8	教員のこの講義に対する準備は十分でしたか？	(5) 十分だった (4) ほぼ十分だった (3) どちらともいえない (2) やや不十分だった (1) 不十分だった	
9	教員の説明や声量など、授業でのプレゼンテーションは良好でしたか？	(5) 十分だった (4) ほぼ十分だった (3) どちらともいえない (2) やや不十分だった (1) 不十分だった	板書・プロジェクター等の利用も考慮して回答して下さい。
10	テキスト・参考書あるいはプリント等は適切でしたか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	
11	この講義の成績評価の方法は適切であると思いますか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	シラバスに記載されている成績評価を考慮して回答して下さい。
12	この講義のシラバスは講義を理解する上で役に立ちましたか？	(5) 役に立った (4) まあまあ役に立った (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たなかった (1) 役に立たなかった	講義を選択する際に役立ったかという点も考慮して回答して下さい。
13	総合的に見て、この講義を担当した教員をどう評価しますか？	(5) 評価できる (4) まあまあ評価できる (3) どちらともいえない (2) あまり評価できない (1) 評価できない	
14	この講義は、公認会計士試験を受験する上で役に立つと思いますか？	(5) 役立つ (4) まあまあ役に立つ (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たない (1) 役に立たない	
15	この講義は、公認会計士になってからのキャリアにおいて役立つと思いますか？	(5) 役立つ (4) まあまあ役に立つ (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たない (1) 役に立たない	
16	あなたが既に合格している資格試験等について、該当するものを選んで下さい。	(5) 税理士会計科目 (4) 公認会計士短答式 (3) 日商簿記1級 (2) 日商簿記2級 (1) その他	複数回答可能です。
17	《講義担当教員による質問》	(5), (4), (3), (2), (1)	担当教員による質問があれば回答して下さい。
18	《自由記入欄》	授業の感想、担当教員への要望、また本アンケートの各質問に関連した更なる意見等を、マークシート添付の用紙に自由に記入して下さい。	

アンケートは以上です。御協力感謝致します。

付録2：アンケート集計結果（2009年度前期）

	選択項目	人数	割合		選択項目	人数	割合
設問1 回答者属性	公認会計士コース（2年）	154	32.42%	設問9 教員の説明や声量など、授業でのプレゼンテーションは良好でしたか。	十分	305	66.45%
	公認会計士コース（1年）	263	55.37%		ほぼ十分	105	22.88%
	高度会計職業人コース	2	0.55%		どちらともいえない	35	7.63%
	経済経営学専攻	16	3.37%		やや不十分	8	1.74%
	経済学部	20	4.21%		不十分	6	1.31%
	合計	475	100.00%		合計	459	100.00%
設問2 この講義にどのくらい出席しましたか。	90%以上	362	79.39%	設問10 テキスト・参考書あるいはプリント等は適切でしたか。	適切	284	62.14%
	89-70%	57	12.50%		ほぼ適切	107	23.41%
	69-50%	18	3.95%		どちらともいえない	44	9.63%
	49-20%	6	1.32%		やや不適切	17	3.72%
	20%未満	12	2.63%		不適切	5	1.09%
	合計	456	100.00%		合計	457	100.00%
設問3 この講義の予習にどのくらいの時間を掛けましたか。	5時間以上	15	3.30%	設問11 この講義の成績評価の方法は適切だと思いますか。	適切	277	60.48%
	4-5時間	7	1.54%		ほぼ適切	106	23.14%
	3-4時間	20	4.40%		どちらともいえない	60	13.10%
	2-3時間	58	12.75%		やや不適切	13	2.84%
	1-2時間	218	47.91%		不適切	2	0.44%
		合計	455		100.00%		合計
設問4 この講義の復習にどのくらいの時間を掛けましたか。	5時間以上	19	4.16%	設問12 この講義のシラバスは講義を理解する上で役に立ちましたか。	役に立った	222	48.47%
	4-5時間	8	1.75%		まあまあ役に立った	127	27.73%
	3-4時間	41	8.97%		どちらともいえない	90	19.65%
	2-3時間	101	22.10%		あまり役に立たなかった	15	3.28%
	1-2時間	233	50.98%		役に立たなかった	4	0.87%
		合計	457		100.00%		合計
設問5 この講義の宿題にどのくらいの時間を掛けましたか。	5時間以上	32	7.08%	設問13 総合的に見て、この講義を担当した教員をどう評価しますか。	評価できる	313	68.49%
	4-5時間	18	3.98%		まあまあ評価できる	95	20.79%
	3-4時間	63	13.94%		どちらともいえない	38	8.32%
	2-3時間	111	24.56%		あまり評価できない	10	2.19%
	1-2時間	169	37.39%		評価できない	1	0.22%
		合計	452		100.00%		合計
設問6 この講義の内容をどの程度理解できたと思いますか。	理解できた	139	30.35%	設問14 この講義は公認会計士試験を受験する上で役に立つと思いますか。	役立つ	272	59.52%
	ほぼ理解できた	217	47.38%		まあまあ役に立つ	116	25.38%
	どちらともいえない	83	18.12%		どちらともいえない	53	11.60%
	あまり理解できなかった	17	3.71%		あまり役に立たない	9	1.97%
	理解できなかった	1	0.22%		役に立たない	7	1.53%
	合計	458	100.00%		合計	457	100.00%
設問7 この講義の難易度は会計大学院の講義として適切だと思いますか。	適切	272	59.39%	設問15 この講義は、公認会計士になってからのキャリアにおいて役立つと思いますか。	役立つ	246	53.95%
	ほぼ適切	129	28.17%		まあまあ役に立つ	134	29.39%
	どちらともいえない	45	9.83%		どちらともいえない	67	14.69%
	やや不適切	11	2.40%		あまり役に立たない	7	1.54%
	不適切	1	0.22%		役に立たない	2	0.44%
	合計	458	100.00%		合計	456	100.00%
設問8 教員のこの講義に対する準備は十分でしたか。	十分	331	72.11%	設問16 あなたが既に合格している資格試験等について、該当するものを選んで下さい。	税理士会計科目	6	1.72%
	ほぼ十分	89	19.39%		公認会計士短答式	7	2.01%
	どちらともいえない	25	5.45%		日商簿記1級	27	7.74%
	やや不十分	12	2.61%		日商簿記2級	249	71.35%
	不十分	2	0.44%		日商簿記3級	60	17.19%
	合計	459	100.00%		合計	349	100.00%

注) 設問の文言は本来のものと若干異なります。

2009 年度 東北大学会計大学院ワークショップ委員会

委員長	松田 康弘
委員	青木 雅明
委員	伊藤 健
委員	榎本 正博
委員	安田 一彦

会計大学院アンケート実施報告書 2009 年度前期

2009 年 10 月 15 日発行

編集・発行： 東北大学会計大学院ワークショップ委員会